

塙町章



この町章は「はなわ」の文字を図案化したものです。小さな円は人々の未来を、大きな円は町民すべての融和と町の限りない発展をあらわしています。昭和43年10月に明治百年記念事業の一環として町民から募集し、応募点数274点の中から選ばれたものです。〈昭和43年10月1日制定〉

塙町の概要

塙町は福島県の南端に位置し、東は東白川郡鮫川村、茨城県北茨城市・高萩市・里美村と接し、南は東白川郡矢祭町、北は東白川郡棚倉町に接する東西約27km、南北約20km、面積211.60km²の町です。

町の東部には阿武隈山系、西部には八溝山系が連なり、中心部を久慈川がゆったりと縦断しています。

この流れに沿うようにJR水郡線と国道118号が走り、郡山市や水戸市とは約1時間半の距離で結ばれています。また、同じ県南地区の白河市までは国道289号で約50分の距離です。このほか国道349号や主要地方道塙～大津港線などが町民生活の重要な足となっています。

集落は町全域に点在していますが、久慈川沿いの平坦地に小規模ながら市街地形態を見ることができます。

気象は比較的温暖な表日本型の気候を示し、平均気温が12.7度、年間降水量は1,300～1,600mm、降雪量は過去5年間の平均が36cmと少なく、暮らしやすい土地柄と言えます。

土地はおおむね肥沃で、水稲、コンニャク、野菜などの栽培が主体です。八溝山系には東日本屈指の杉や桧の美林があり、林産資源が豊富なことで知られています。

交通のご案内

〔東北新幹線〕東京から新白河經由磐城塙駅まで2時間30分

〔水郡線〕水戸から磐城塙駅まで1時間40分

〔水郡線〕郡山から磐城塙駅まで1時間30分

〔常磐自動車道〕那珂インターチェンジから
国道118号線利用で1時間10分

〔東北自動車道〕白河インターチェンジから
国道289・118号線利用で45分



Mayor's Message

21世紀に向かう町づくり

塙町長

二瓶隆男 *Takaō Nihei*

当町は211.60km²と広い面積を持ち、林野率80%、久慈川が中央に縦断南流する町です。東は阿武隈山系、西は八溝山系に連なる、緑と水の豊かな農山村であります。私たちは、数々の歴史遺産の上に多くの先輩が築いてくださったこの町をさらに大きく発展させなければなりません。農林業を基幹産業として、工業、商業など活発な企業展開により、より豊かな町へそして社会基盤の整備によって、より住み良い町を目指します。さらに、心豊かな暮らしを実現するため、人と人が温かく交流し、困った人にはみんなが手をさしのべるような心温まる町を目指し、21世紀に向かって町づくりを進めていきたいと思っております。特に平成10年にオープンした「湯遊ランドはなわ」は、「交流のある町づくり」に果す役割は大きいものと期待しております。青少年が夢を語り合い、町民みんなが明るい希望をもち、お年寄りのはたらきとして元気な町を常に追求していくことが、豊かな町づくりとつながることでしょう。塙町が大きく発展する経過を、そして町の現状をこの要覧で理解していただければ幸いです。

